

まちづくりビジョン2040完成に向けて  
~2026年もよろしくお願ひいたします~

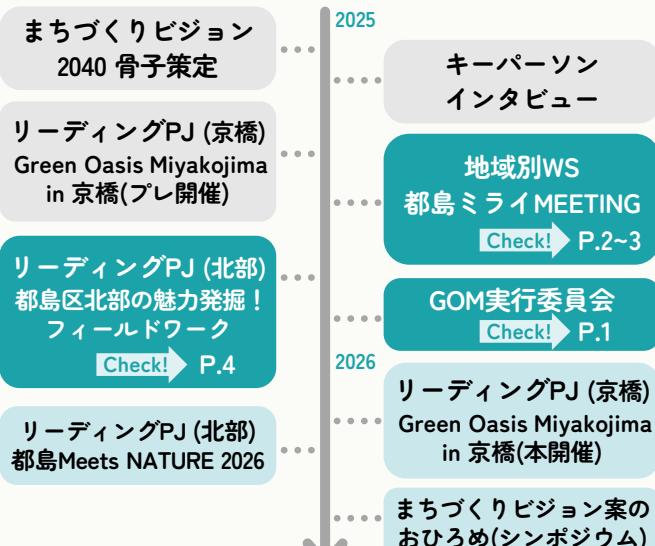
2026年最初のニュースレターをお届けします。  
いよいよ今年は、まちづくりビジョン完成の年！

昨年は、キーパーソンインタビューや地域別ワークショップ「都島ミライMEETING」、京橋公園での先行的な取組「Green Oasis Miyakojima in 京橋（プレ開催）」などを通じて、都島区のみなさんと一緒に「都島区のミライの姿」を考えました。

今年は、集まったアイデアをまとめながら、「Green Oasis Miyakojima in 京橋」の本格開催など、ビジョン完成に向けた取組を進めていきます。みんなの声を、楽しく分かりやすい形でビジョンに反映していきたいと考えています。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします！

## ~まちづくりビジョン完成までの歩み~



都島区まちづくりビジョン2040 策定 (2026年春頃 予定)

## REPORT Green Oasis Miyakojima 実行委員会がスタートしました！

昨年10月、京橋公園（コムズガーデン1F）でプレ開催した「Green Oasis Miyakojima in 京橋【京橋にぎわいマルシェ】」（略称：GOM）。

今年度末の本格開催に向けて、有志による実行委員会がスタートしました！メンバーそれぞれの「こんなチャレンジがしたい」「京橋公園でこんな過ごし方をしたい」といったアイデアの実現に向け、会議を重ねながら準備を進めています。

今回は、実行委員会で検討している内容を一部ご紹介します。



10月のプレ開催時の様子

#1

## GOM実行委員会キックオフ！

- メンバーが実現したいコトや、目指したい京橋公園のすがたを共有し、取組のコンセプトについて意見交換しました。
- 新メンバーも加わり、よりスケールアップした体制でイベント企画・運営がスタート！



GOMのコンセプト  
都島のグリーン(緑や公共空間)を活用し、都島区民が、新しいコトや、モノ、ヒトに会えるオアシス(機会・場)をつくる

#2

## グループごとに企画を考えていきます！

- コンセプトや、メンバーの「やってみたいこと」をもとに、5つのグループを立ち上げ！

スタジオ

マルシェ

飲食

こども

広報・運営

開催日時

2026年 3月 7日 (土)  
11時～17時 に決定!!

大人も子どもも楽しめるイベントです。  
この日はぜひ、京橋公園（コムズガーデン）へ！

## REPORT

## 「都島ミライMEETING」レポート

未来の都島を担う皆さんと一緒に「未来の都島区がどんなまちにならいいか?」「どんなことができたらうれしいか?」を自由に語り合いました。各回で出たアイデアやご意見を紹介します!

## Vol.1 まるよし精肉店 都島区民センター

【日時】11月29日(土) 14:30~16:30

## 【子どもが安心して過ごせるまち】

- ・公園で球技がしたい
- ・子どもが飽きずに遊んでいられる場所がほしい
- ・遊びを学びたい
- ・絵を書くイベントをしたい



## 【自然】

- ・ビオトープをつくりたい
- ・公園に花や屋根付きベンチがほしい
- ・自然をそのまま森化したい



## 【学びを受け取れる環境・まち】

- ・知的好奇心を満たすような場
- ・年齢に関係なく学べる環境
- ・大人と子どもがコミュニケーションを取れる場
- ・若者と高齢者の交流場所



## 【学べるコンテンツが豊富なまち】

- ・高齢者が若者を案内する「京橋ディープツアー」と若者が高齢者を案内する「マルシェツアー」の開催

大きく始めると続かないかも  
まずは小さなスペースから!!



## Vol.2 Work&amp;Study CUBE都島店

【日時】11月15日(土) 10:00~12:00

## 【子どもが楽しむ機会がある】

- ・砂浜ではだしピクニック
  - ・安心して子供を預けられる場所
  - ・マンションの1階部分のテナントで子ども向けイベント
  - ・ママさんが活躍するマルシェ
- 子育てや介護をご近所で助け合えたら…



## 【人が集まるにぎわい】

- ・区全域で防災イベント×キッチンカーフェス
- ・ぽっぽてらすで定期的なマルシェの開催
- ・全力ダッシュ
- ・直線を活かして流しそうめん
- ・地域・企業対抗モルック大会、綱引き大会、大食い大会
- ・色々な国の飲食店を活かしてafter万博イベント
- ・商店街の暗さを活かしたイベント(ランタン祭り、3Dマップニング、キャンドルナイト)



## 【新しいつながり】

- ・ご近所繋がりで子育てや介護
- ・区民×企業×団体をつないで、まちフェスの開催
- ・商店街同士でまちなかバル
- ・連帯感を強めるためにムーブメントをつくる(ギネス申請)



## Vol.3 わんだへらぼ都島

【日時】11月15日(土) 14:30～16:30

## 【子育て、子ども】

- ・チョークを使ってお絵描き
- ・PBL（課題解決型学習）
- ・子どもと大人の居場所がほしい（コミュニティカフェ・シネマ）
- ・子ども向け訪問看護ステーション
- ・病院以外で病気についての相談ができる場所
- ・ママ経験のある人や保育士さんとかに色々相談したい
- ・ママ向けの駆け込み寺
- ・子どもを連れて行ける場所が少ない（ベビーカーで入れて、子どもが遊べるところ）
- ・フラットに色々な世代の困りごとを聞ける場所。

ママ向けの駆け込み寺  
がほしい！

## 【大人が楽しめる】

- ・ボッチャ、モルック大会
- ・フォトロゲイニングで地域資源の掘り起こし
- ・DIY体験ワーク
- ・空き家活用
- ・誰でも参加できる楽しめるゲームスポーツ大会

お酒以外の文化  
もあるといいな！

## 【ゆったり過ごす】

- ・コーヒースタンド
- ・テラスとパラソル
- ・映画の上映会など若い人達が集まれるスポット
- ・公共空間に日陰と座れる場所がほしい



## Vol.4 大東福祉会館

【日時】11月29日(土) 10:00～12:00

## 【自然】

- ・みんなで橋から夕焼けを見るイベントの開催
- ・俳句、短歌大会
- ・たこあげ大会
- ・キャンプファイヤー
- ・ドローンショー
- ・年齢に関係なく参加できるフォークダンスの開催
- ・高齢者向けのウォーキングイベント
- ・手持ち花火や区民向け花火大会の開催
- ・ドッグラン、ペットグッズの物販
- ・自然のものを使ってカードが作れるワークショップ

愛犬家向けの場を作りたい！



## 【音楽、文化】

- ・アートと音楽で都島を知ってもらう
- ・路上ライブ
- ・都島の写真展
- ・天満音楽祭みたいな音楽イベント
- ・盆踊りorサマーフェス



## 【広報、情報発信】

- ・地域情報をキャッチできるような仕組みをつくる
- ・地域情報を見れる場所、機会を増やす
- ・チラシとSNS両面でのPRが必要



## REPORT 都島区北部の魅力発掘フィールドワークを開催しました

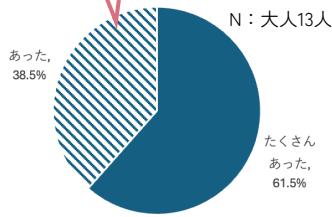
「まちづくりビジョン2040」北部地域のリーディングプロジェクトとして昨年度から取り組んでいる都島Meets NATUREプロジェクト。

今年度は、11月3日（月・祝）に、淀川河川公園・毛馬町・友渕町周辺で「都島区北部の魅力発掘フィールドワーク」を開催しました。

淀川地域から友渕町まで街歩きするグループと、淀川河川公園の自然を観察するグループに分かれ、歴史や自然などさまざまな観点から都島区北部の魅力を発見しました。フィールドワークの最後には「御船かもめ」に乗船し、船上のこたつで暖まりながら淀川に浮かぶ植物や水鳥を観察できました。



淀川は思っていたよりも水がきれい！



フィールドワークの参加者全員に、まちや自然に対して新しい発見がありました！

船に乗って見る景色がよかったです！



参加者さん撮影

## 都島 Meets NATURE 2026 開催のお知らせ

歴史や自然のあそび方、フィールドワークでの発見など都島北部の魅力をまとめたツールのお披露目や、それらの魅力を感じられるツアーやプログラムなど、川・風・緑をより身近に楽しむことができる「都島 Meets NATURE 2026」を開催します。あなたらしい楽しみ方を見つけにきてください！

2026年3月14日(土) 11:00～15:00

淀川河川公園（毛馬地区） ※雨天時15日（日）へ延期

## COLUMN 都島区の歴史を知ろう！

## 知ってた？都島区の歴史

都島区は、明治時代に大阪の近郊農村として始まり、淀川の水と水運を背景に、繊維業や製紙業などの工業地として発展してきました。昭和期には大阪北部を代表する産業地帯となり、多くの労働者が集まって活気あるまちが形成されました。

一方、昭和40年代以降は公害問題や工場の地方移転が進み、跡地は住宅地として再開発されました。

1980年代以降は大規模マンションの建設が進み、

住環境が整い、学校や公園、

商店街を中心とした暮らし

へと変化していきました。

平成以降は、交通利便性や自然環境の良さから若い世代や子育て世帯も増え、多くの人々が暮らすまちへと発展しています。



## 毛馬桜之宮公園の風景を辿る

毛馬桜之宮公園は、江戸時代から桜の名所として親しまれてきました。明治期の淀川改修や新淀川の開削によって河川環境が整えられ、人々が安心して川に親しめるようになりました。

大正・昭和期には堤防や河川敷の整備が進み、川沿いの桜並木も大切に守られてきました。こうして、水と桜が調和した風景は地域の人々によって受け継がれ、散策や花見などを日常的に楽しめる憩いの場として親しまれています。



【発行】 都島区役所 総務課 政策企画担当

【企画・編集】 (株)地域計画建築研究所

※都島区まちづくりビジョン2040策定に  
向けた調査検討業務委託受託事業者

イベントのくわしい情報や、  
まちづくりビジョンに関する  
お知らせは、都島区公式  
HPやSNSをチェック！



HP



Instagram



X



次号  
(Vol.4)  
2026年2月  
発行予定！